

謹んで新年の

ご祝詞を申し上げます

明るい町づくりを

館長 橋本 昭二



昨年総選挙で辛勝しました政府・自民党も、今年は何とか景気の浮上をはかり、減税を初め、あらゆる施策を通じて私等国民に希望を与える為、努力される事でしよう。

ひろがえって、当大代公民館ですが町内の皆様方の御協力を得まして、今年も明るく住みよい町づくりを目指して進みたいと思えます。

幸い当町には昨年『明るい町づくり推進協議会』が結成されました。この会は大代町の自治会連合会を初め、各種団体長で構成されています。

したがって実際に運動を展開して行く為に、横の巾を広く、町民の全員参加のもとに明るい大代を造って行くことがねらいです。

公民館自体も積極的に参加して運動の展開に協力したいと思えます。

次に昨年から運営委員長の熊谷正範氏のご努力と、皆様方の御厚意により、図書が三百冊近く集められました。

もっと充実させて愛読、広くご利用に供したいと存じます。

皆様今年も色々な面から公民館への御協力を御願ひ申し上げます。

五十九年の門出

婦人会長 渡 綾子

昭和も五十九年、戦前・戦中・戦後と複雑な時代を経て来た私には、日々の平穏な生活は何物にも替え難い貴重なものでございます。

とは云えオイルショック以来、上向きとは申せ低迷経済が続けている今、賢い消費者を目ざし又ギスギスした気持ちにならぬ様に、情操方面の学習もしたい、あれもこれもと、夢は一杯でござい

ございます。

昨年は健康づくりを基盤にした、心豊かな暮らしをモットーに進んで参りましたが、大代婦人会伝統の「アイウエオ法則」愛情・色気・美しく・英知・女らしくを改めて胸に刻み、家庭を大切に感謝の心を忘れず明るい町づくりに参加して、「日本一住みよい町大代」の実現を念願しております。

我が婦人会は会員の御家族の方々が、大変理解して御協力下さるので有難い事だと思えます。一層の飛躍のためにも本年もどうぞよろしく御願ひ申し上げます。

年頭に当って

— 火災のない町づくりを —

大代分団長 原 田 一 徳

新春を迎え、町民の皆様方の御健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年中は幸にして大火も無く過ぎました事は、町民の皆様方の防火意識の向上の賜と存じます。尚、本年も防火に格段のご協力を頂きまして明るい無火災の町で有りますよう、御願ひ致します。

す。

消防施設も市、又町後援会のご協力により追々と充実して参りました。

消防車も昨年八月新車と交換され、ポンプ六台は優秀な性能で有ります。

本年は施設の整備に重点を置き、正法寺前のポンプ格納庫の新築、又植松の水槽の完全整備、又地区中央にホース乾燥柱の新設、又水源不足地区の水

槽の対策等色々と重大な仕事を控えて居ます。この事業は関係方面に強力な

運動をして是非早急に実現して頂く考

えです。町民皆様の一層のご協力をお願い致します。

少年健全育成に備えて

少年健全育成
協議会 会長 渡 敏昭

全国で約一万校ある中学校のうち約千七百校は昨春の卒業式で警官に守られて行われたのが今日の日本の国の姿です。

刑法犯で検挙された少年は昭和四〇年を二〇〇とすると、現在は一八三に増え、このうち十四才から十六才が七

三%で(サンケイ新聞参考)犯罪もこ

こ数年は年少化・凶悪化・粗暴化して

おり、誠に憂慮すべき実状にあります。

年頭にあたり非行増加の実体と非行防止必要の認識をあらたにし、お互い一人ひとりが少年を健全に育てる当事者

だという自覚のもとに、明るい町づくりの一端として皆さんでこぞって取り組

みたいものです。

今号は正月にちなみ少年健全育成いろは標語(岩手県久和志磨代作)を紹介

致しますから心にかみしめて味って頂き、わが子、わが郷土の子供達の育成

実践活動に備えて下されば幸いです。

① いつも笑顔で話し合う親の態度が子を守る

② 論よりも日ごろの行動、子の鏡

③ 母の愛、子供の躰は幼児から
④ ニッコリと笑って今日も子を送る
⑤ 欲しくとも時にはがまんさせる親
⑥ 平素から心の対話、非行なし
⑦ 父さんの権威が泣いている子の気まま
(以下紙数の関係上抜萃して掲載)
⑧ 留守家庭、子供の心にキズがつく

⑨ わが子だけ立派に見える近視眼

⑩ 夜遊びは時に暴走けんかする

⑪ 溜り場でシンナー乱用、命取り

⑫ 礼儀作法、教える親がまず実行

⑬ 無理をいう親の態度に子は家出

⑭ 嘘をいう親のまねする不幸な子

⑮ 親の愛、明るく育つ子の心

⑯ 苦しみを耐えて明るい我慢の子

⑰ まず見本、親が示して子をしつけ

⑱ 子年生れの人々

⑲ 八十四才の新春を迎えて

⑳ 雪



山田 渡

子年八回目の新春を迎え、来し方をふりかえり感慨新たなものがあります。私は、父が銀行勤めのため温泉津町で生れ、浜田で育ちました。

実家の父方は津和野藩士、母方は浜田藩家老、家康公より陣羽織拝領の血筋、亀井公の墓地近くに眠る両親の墓参も今年が最後になるかも知れません。主人が郡役所勤務時代、浜田から益田に移り、四人目の子供の時、山田へ帰り、すでに五十余年になります。

八四年も決して第3次世界大戦がおき
ない平和な年でありませう念ぜずには
お望みません。私もしっかり勉強し
て、少しでも世の中に役立つ人間にな
りたいと考えています。そして、父母
を安心させてあげたいと思います。

新学期への決心

問もなく中学生――

小学六年 曾根 早苗

三学期は、五年が全校の中心となっ
てくれるけど、まだ、ちょっと心配な
ところもあるのです。なまけることが
多いので、全校の最高学年なので全校
を引っ張ってほしいのです。
私達も、おしえてあげて心のこりのな
いよう卒業したいのです。
四月には、中学校へ入学します。

なにかいっても、私のいやなのは部活
です。冬はいくけれど、夏ごろは遅く

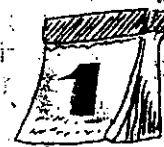
までやるので苦勞します。ネットが高
いので、背の低い自分は、ボールがネ
ットをこえないかもしれないのだし、
勉強だつて、むずかしくなるのです。
だから、小学校の勉強をしつかりやっ

を安心

ておきたいです。テストも、むずかし
くなりませう。

中学校に入ると、苦勞なこともある
けど、それをのりこえりつぱな中学生
になりたいです。

新年俳句



鎮魂の 重元 コト

魚坊輝く 今朝の春

大店の 荒本 幸子

賀正と墨痕 太やか

わだかまり 尾崎三枝子

解けて遠嶺の 初明り

旗並ぶ 立野 草衣

我が村落に 年迎ふ

一軸の 武田 島子

牙えて拝すや 今朝の春

還暦の 渡 あやこ

雑煮目出度く 喉過ぐる

1月 少年健全育成指標

この一年

計画を立て、頑張ろう

秋の公民館応募俳句

(発表が遅れまし

湯の宿の 考える

背山紅葉に せよらげる

十和田湖の 船遊び

水澄みて居り 船遊び

みちのくの

旅重ねたり 夕紅葉

紅葉の

山に落日 旅に見る

息白く

初冠雪の 蔵王に立つ

山合いの

道に枯葉の ワルツ舞う

山深く

柿実りあり 母の里

三十八年以來の

豪雪が予想されます

雪に依る家屋の倒壊・損傷など考え

られます。尚、傾斜地ではなだれの起

こる恐れも有り、児童遊園の子供さん

等、充分注意してもらって下さい。

道路傍には駐車しない様にして下さ

い。除雪が出来ないそうです。

当時は慣れぬ百姓、殿しい姑、七人の子育て、それは「おしん」にも劣らぬ苦しさでした。

今年も健康に留意し、自分でできる範囲の手伝いをし、仏前に座して亡き主人と語り、子や孫の無事を祈り、地区の皆さんへ感謝の気持ちで過します。

還暦を迎えて

上市 後藤 正

知らず知らずの間に五回目の鼠年が来て、私も還暦を迎える歳になりました。

昔ね六十才の還暦と言えば随分と歳を取った人だなど思っていたのに、今では別に歳を取った気分にもならず生活環境が違つて来たものと思います。

町民運動会で、五十才台の色々な競技で走り回っていたのに、六十才台はタイ釣や瓶運びのように余り走らない競技にしか出場出来ないかと思ふと何となく淋しい気がしますが、まだまだ若い者に負けないつもりで頑張りたいと思つています。

孫が成長し成人式を迎えるまでは長

生きしなければならないと、毎日健康に気を配っています。

昔は還暦祝に赤いチャンチャンコを子供からもらい祝福されたそうですが今は余りやっていないようです。

我家では還暦祝に心に残る旅行でもしてはと息子達が計画していますが、実現するかどうか健康第一に、まだまだ長生きしたいものです。

一日一日を心豊かに

植松 渡利 満枝

昭和五十九年は子年とかは何と歳月の経るのは早いもので六十才、私は年女です。ベストセラーとなった「生きて行く私」を著した作家の宇野千代さんは八十五才で自分の一生を書き上げました。「まだ八十五才これからです」と、その心の若さと実行力、文章の流麗さに多くの人々に感銘を与えました。

私の家にサレヨサルの松下幸之助さんの額に「青春とは心の若さで有る、信念と希望に溢れ勇氣にみちて日に新たな活動をつづける限り、青春は永遠にその人のものである」と書かれてあ

ります。

私も今年はどうな小さな事にでも喜びを感じ楽しさを押し出すよう心がけて、気が付いた事は立止らないで、すぐ実行に移す様、本心に日々々々を心豊かに暮らし度いものと願つてお祈ります。

未来を考える

中学三年 高村 珠美

あけましておめでとうございます。

一九八四年がやって来ましたが、今年もよき年でありますように。

一九八四年は、私にとって中学生最後の年になります。そして、新たな世界へ向つて旅立ちをしなければなりません。私達の旅立つ今の世の中は、経済の面から考えても大変な時代だと思ひます。また、政治の面から言つても難題が多いようです。日本の今の幸せは、平和であるからです。「おしん」のテレビが昨年は全国的に視聴者が多くブームになりましたが、テレビで見ると戦争を考へてもゾツとします。一九